

誰も置き去りにしない社会へ

# 杉山あつし だより

県政へのご意見をお寄せください

発行者：杉山あつし（静岡県議会議員）  
第18号（2023年10月20日発行）

静岡市駿河区富士見台2丁目3-34-13  
電話 054-282-0143 FAX 054-282-0143



## 静岡県議会9月定例会 会派代表質問に立ちました

### ■ 物価対策、PFAS（ピーファス）、学びの保証を質問

猛烈な猛暑の8月、9月でした。保健所などから熱中症対策としてエアコンの早めの稼働が呼びかけられました。心配した台風災害はなかったのが幸いでした。いよいよ脱炭素・地球温暖化対策に真剣に取り組む必要性があります。

県政報告会（9/24）と9月定例会代表質問（9/26）がおわりホッとしています。

9月定例会では自民党や公明党から川勝知事の給料、ボーナスの返還・減額問題が多く取り上げられた議会でした。また、豪雨対策、河川のしゅんせつなどの質問も多かったです。

この議会でこの間対応していた県営住宅の保証人廃止の実現に目途がつき、さらに単身入居者の年齢制限（60歳以上）の引き下げ、子育て世代の優先入居について同居する子を高校3年生までに拡大する方針が示されました。引き続き地元課題を含め対応していきます。



## ■ 静岡県議会 9月議会報告（9/21～10/13）

### ふじのくに県民クラブの代表質問（9/26）

会派の代表質問に臨みました。自身が執筆した質問5項目と会派の政調会が作成した7項目を質問しました。答弁には不満もありますが、代表質問で取り上げたことの重みを基に、実現に向け活動していきます。

#### 主な質問項目

- 物価高騰、賃金アップを想定した委託費、補助金など予算の適切な増額の必要性
- 人体に影響のあるPFAS汚染の現状把握と今後の取組
- 他県で進む新築住宅への太陽光パネルの設置義務化、標準化への対応
- 大学生の学びの保証・支援
- 災害対応する土木技術職員の確保
- 定数割れの教員の人材確保
- 県管理河川のしゅんせつの取組と今後の方針

## 当選後初の県政報告会

約70人の方にご参加いただきました。「リニア問題で工事が止まっているのではなく、工事用道路の舗装化・拡幅が進んでいることについて報道されていない」「統一教会問題では、焼津市の被害者の方は親族が死亡による生命保険金4000万円を寄付してしまい、最近交渉し和解をして3750万円取り戻したことなど、静岡県でも身近に被害者がいる」「就きたい職業に就くには大学で資格を取らねばならず、大学進学は贅沢ではない。学びの支援は必要」など県政の課題を報告しました。(9/24)



県政報告会・あざれあ

## 富士・富士宮方面の県職場を訪問

畜産技術研究所、富士土木・富士宮駐在、富士宮市役所、吉原林間学園を回りました。畜技研では地下水ポンプが故障し、トラックで一日12回往復水源地から水を運んでいる実態を確認しました。職員の負担が重く、新しい井戸が完成する11月まで臨時職員で対応することになったと説明を受けました。吉原林間学園ではこども家庭相談センターで同僚だった役職の皆さんと意見交換できました。これからも県職場を訪問し、意見交換していきます。(8/23)



県・畜産技術研究所視察

## 会派で早世桐植樹現場と御前崎市、浜岡原発を視察

6年で大木となる「早世桐」の樹林を見学。植樹からわずか1年4ヶ月で6mを超え、脱炭素の実践について確認し、中電から委託を受けている菌根菌協会の方から丁寧な説明を受けました。



会派視察・  
「早世桐」植林現場

その後、浜岡原発4号機へ移動。パンツースーツとなり靴下、股引、繋ぎの作業着、ヘルメットを着用し、原子炉建屋に入り安全対策の説明を受けました。写真撮影はNGでした。

南海トラフ大地震と原発が共存できるかが再稼働の争点であり、現場の努力が空しく感じた視察でした。今後の脱原発活動を進める上で必要だった視察と感じています。

## 3年ぶりに献血協力

コロナ禍で献血はやめていましたが、久しぶりに献血(400ml)に協力しました。過去50回以上献血していた人の中で60歳以降に献血した人に対して表彰がされるそうです。どんな表彰だったか、報告します。(9/10)

## 富士見学区、宮竹学区自治会連合会に参加し、地域課題を勉強

富士見学区では、挨拶だけでなく最後まで参加し、地元の課題を確認させていただきました。

宮竹学区では、恩田原・片山土地区画整理事業での産廃事業者進出の問題、富士見台こども園の高松公園への仮園舎建設問題などを報告しました。(9/2、9/22)

## 「気候危機ストップ・庁舎前アクション」 (静岡市役所前会場)に参加

気候危機・自治体議員の会が呼び掛けたアクション行動に参加し、強い日差しの中、静岡市役所来庁者や職員に、地球温暖化防止の必要性を訴えました。(9/15)



静岡市役所前

## 難病連が行った知事への要望に立会

9月定例会で県難病団体連絡協議会（難病連）の要請について本会議質問で触れるため、立ち合い要望内容を確認しました。難病連から、難病認定で交付される「特定医療費受給者証」で障害者手帳並みの福祉サービスが受けられるようにしてほしい。災害時の難病患者避難計画を策定すべき。物価高騰・最低賃金アップに見合う団体への委託費等を増額してほしいことなどが要望されました。(9/20)



県庁・知事室

## 全国政策研究集会2023in東京

1日目のシンポジウム「市民の命に責任をもつ、1番身近な政府から」で話題の杉並区長・岸本聡子さん、世田谷区長・保坂展人さんらの話を聞くことができました。コロナ対策で政府と渡り合い、独自の検査体制などを実施した保坂区長の話しは、大阪維新の首長を意識した話で参考になりました。分科会「コロナ禍の生活保障」では両宮カリン(反貧困ネットワーク)さんから、コロナ禍で女性の貧困が進んでいる、若年化している。セーフティネットの生活保護が機能していないなどの話を聞きました。多くの議員の皆さんと交流できました。

2日目の分科会は「気候危機対策待ったなし、自治体からの取り組みこそが重要」に参加。国土交通省は2030年新築戸建ての6割に太陽光パネルを設置させることを目標としているが動きが見えない。建築価格の高騰で断熱、屋根載せ太陽光発電の初期コストの負担をカバーするには電気代高騰の今がチャンス。昨年からの猛暑日が急増、冷房はもはや贅沢品ではなく、必要不可欠な生命維持装置。断熱住宅はエアコンのコンパクト化、省エネにつながる。学校の断熱とZEB改修が重要などの話をききました。(8/18.19)



国立オリンピック記念青少年総合センター

## 波乱の6月議会最終日(7/12) 9月議会で給与減額条例可決

6月定例会最終日は翌日の深夜1時近くに不信任決議案を否決して閉会しました。発端となった「コシヒカリ発言」とは2年前の参議院選挙時の自民党公認候補を批判した発言でした。直後の12月給料、ボーナス返上をしていなかったとの報道から一気に不信任案の提出にまで及びました。(※政治家の応援演説は大目に見られる場合が多いので知事は特別視された感がある)

議会側にもこの1年半、返還について追及せず、放置した責任があります。

川勝県知事の報道は過熱しすぎていると感じています。私たちが知りえない何か大きな力が働いているようにも感じます。知事は猛省しており、9月定例会で給与減額条例が可決されました。

## 鈴木エイト氏講演会

準備、受付を担当しました。鈴木エイトさんからは「自民党本部職員には10人以上の統一教会信者がいる(兵庫県警資料)、文化庁から教会の解散命令は出るだろう、家庭教育支援法推進は統一教会の方針、私は尾行などの妨害行為を度々受けている」等の話が聞けました。さらに二世信者が教団の方針のために利用されている、寄付額により教団内の待遇が変わることに触れられていました。有料入場者は250人と大盛況でした。(7/29)

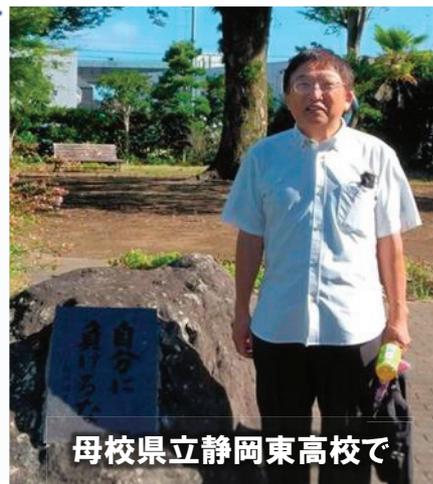


## 母校・県立静岡東高の建築現場を確認

校舎の建替工事の説明や現場を確認しました。前校長の計らいで校舎見学ができました。ゆっくりと回りながら、思い出話を交わしました。(8/10)

### 杉山あつし プロフィール

- 1962年 10月31日生(駿河区南町生まれ)  
静岡学園幼稚園・富士見小学校・高松中学校卒業
- 1981年 静岡東高校卒業(16期生)  
静岡県職員に採用(民生福祉・税務に従事)  
(財務事務所、中部民生事務所、こども家庭相談センターに勤務)
- 2012年 静岡県職員組合専従役員(11年7か月) 49歳時に県を退職
- 2019年 県議会議員選挙(駿河区)に当選 現在2期目
- 2020年 産業委員会副委員長
- 2023年 文化観光委員会副委員長  
会派「ふじのくに県民クラブ」 静岡東高校後援会理事



### ■杉山あつし事務所

静岡市駿河区富士見台2丁目3-34-13  
TEL FAX:054-282-0143  
携帯電話:090-1279-1443  
MAIL:kycdh891@yahoo.co.jp

